

# 真相を聞けば感動で泣き出すようなことを、我々の社会は 抑圧している

ひとつの会議がひとつの人生を救えるか？

John G. West  
December 13, 2019



誰かの人生に起こるかもしれない衝撃は予測できないものだ。私はその事実に思い至ったのは、今年初め、我々の「科学と信仰に関するダラス会議」発会式で、1,000人近くの人々が、夜の大会場を埋めつくし、Eric Metaxas (右) と、「科学と文化センター研究所」の Steve Meyer (左) との対談を聞きに、集まったときだった。

## 傷ついた心を癒すために

このイベントの映画班の一人として雇われていた、ある若い女性が、泣き出した。後に、彼女が我々に話したところによると、行われていたこの対話を聞いているうちに、科学と神への信仰は相容れないものだと言われ、彼女に教えた、大学の教授たちから受けた、心の落胆が、癒えていったのだと語った。「エリックとスティーブが話し始めたとき、私があらゆるレベルで話を聞かされて、鵜呑みにしていたことが、理解できたのです。…彼らは、私の神への信仰を強化してくれ、科学への愛を満足させてくれました。」

寄付をお願いしている我々の寛大な方々は、今年のダラス会議のような、いくつかのイベントを組織するのを可能にしてくれた。彼らのサポートは、この一人の女性の人生に衝撃

を与えただけではない——それは、彼女が映写に協力したこの会議のビデオを通じて、多くの他の人々に届き、それは今、**ユーチューブ**で、**80万回以上も閲覧**されている。

## 来年はダラスとフィラデルフィアで

来年、我々は2つの「科学と信仰」会議を、ダラスとフィラデルフィアで開催予定したいと思っている。これらのイベントは、出席者が1,500名に及ぶ可能性がある。我々の側では、あなた方に引き続き、このような高質のイベントを提供し、長年にわたって人生に強い影響を与えるようなものになりたいと考えている。



私は、あらゆる人が我々の会議に出席できないことは知っている。しかし可能な場合には、あらゆる人々が、その内容を無料で、**ユーチューブ**、**Evolution News and Science Today**、それに我々の**ID the Future**を通じて、利用できることを知っている。これらすべての知識は、我々のあらゆる大学の、科学の教室で出くわす誤った情報と戦うのに、役立つであろう。

### 【訳者 Greatchain, 2019/12/17】

ここに紹介されている文章は短いですが、誰をも感動させるものである。私は「インテリジェント・デザイン」の人々の情熱と、その講演に泣いた、この若い女性の感動を共有できる。そしてこれが、ますます説得力を得て、若い人々の間に浸透していく理由も理解できる。

そして私は、またしても親鸞の言葉を引用する誘惑を抑えきれない。

親鸞はこう言った——「弥陀の五劫<sup>しゆい</sup>思惟の願をよくよく按ずれば、ひとへに親鸞<sup>いちにん</sup>一人がためなりけり」——神が人間を救おうとして、137(?)億年の年月をかけて努力してきた、その願をよくよく考えてみると、なんとそれは私一人を救うためであった。

ひとつ、広く一般に質問したい： 何によらず、感動して泣く人は異常者か？